

加古川市 自殺者の状況

兵庫県内の自殺者数は、平成10年以降急増し約1,300人と高い水準で推移していたが、総合的な自殺対策事業の推進により、平成24年以降自殺者数減少を続け、平成28年に自殺者数を1,000人以下に減少させるという目標を達成した。

また県は、国からの地域自殺対策強化交付金を活用し、自殺対策強化基金市町補助事業として、市町の自殺対策事業に要する経費の補助(自殺対策強化基金市町補助金)を行っており、当市でも、平成22年度より自殺予防事業を実施してきた。平成28年自殺対策基本法の改正より、市の自殺対策計画を策定することとなり、平成30年度に「“生きる”を支えるまち かこがわ-加古川市自殺対策計画-」を策定した。令和元年度より5年間、自殺対策を全庁的に取り組み、自殺者の減少を図る。

1. 自殺者数及び自殺死亡率の推移

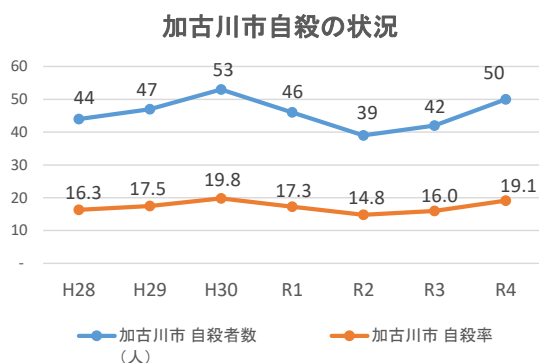
当市の自殺者数5年平均は、46.0人/年(暫定値)である。リーマンショック後より高かった自殺死亡率(自殺率)は、全国・県・市ともに減少傾向で推移した。令和元年新型コロナウイルス感染症流行し、令和2年以降全国・県は自殺死亡率が増加傾向にある一方、当市は令和2年に自殺死亡率が減少した後、令和3年以降増加している。

【表1】自殺者数・自殺率の推移

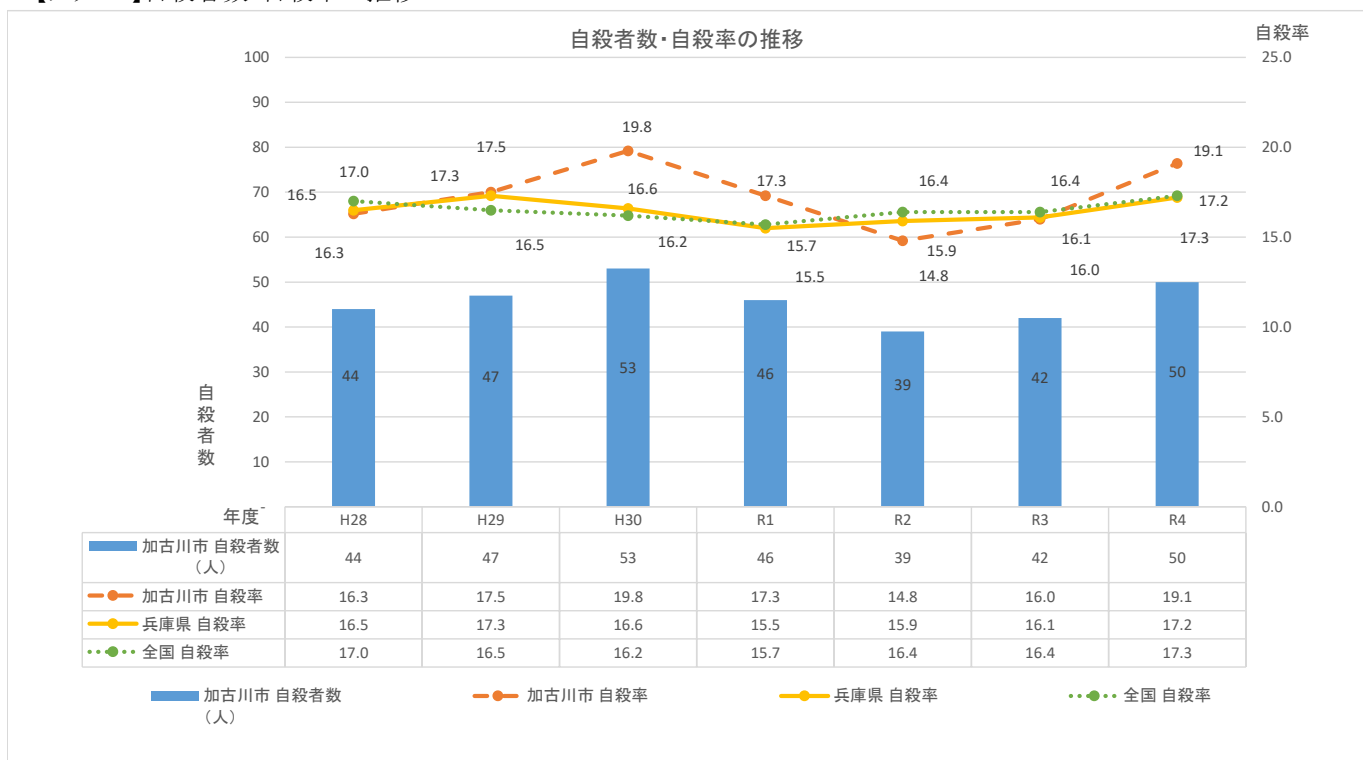
年		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
加古川市	自殺者数(人)	44	47	53	46	39	42	50
	自殺率	16.3	17.5	19.8	17.3	14.8	16.0	19.1
兵庫県	自殺者数(人)	929	967	929	863	881	891	945
	自殺率	16.5	17.3	16.6	15.5	15.9	16.1	17.2
全国	自殺者数(人)	21,703	21,127	20,668	19,974	20,907	20,820	21,723
	自殺率	17.0	16.5	16.2	15.7	16.4	16.4	17.3

※自殺死亡率(自殺率)とは、人口10万人当たりの自殺者数。

※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(詳細資料)」確定値自殺日ベース都道府県別集計一住居地一及び市区町村別集計一住居地一より引用



【グラフ1】自殺者数・自殺率の推移



2. 令和4年自殺者の状況

(1) 自殺者数(性別・年齢別)

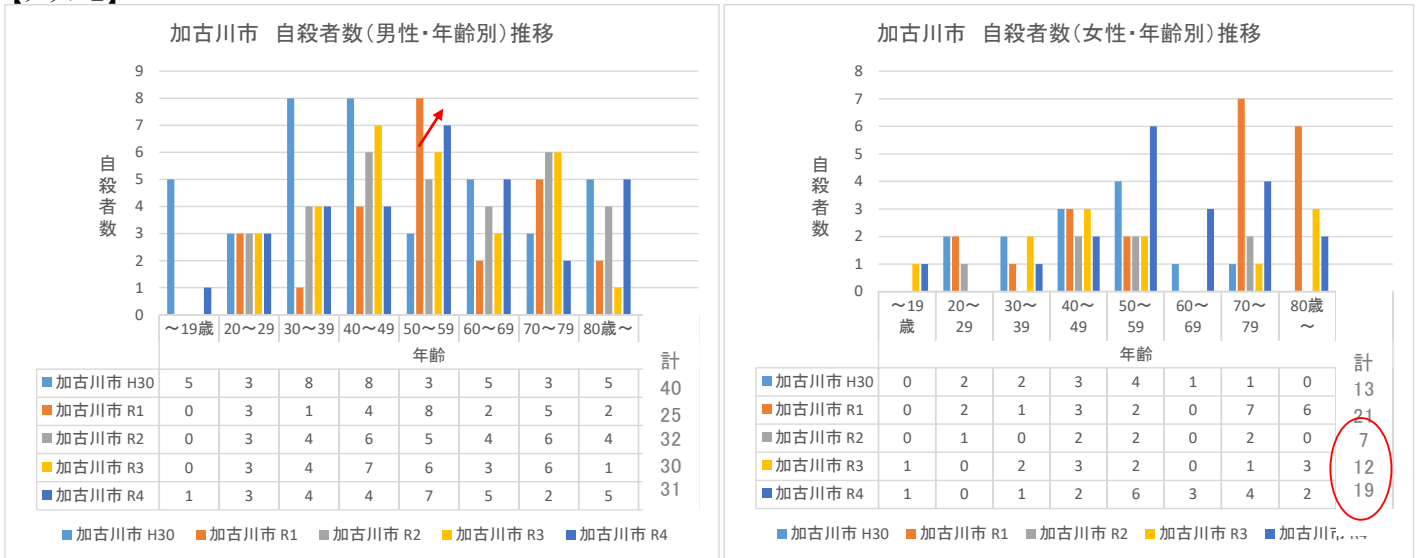
令和4年全国・県と比較して、当市は50代・60代と80代以降の男性、50～70代女性の自殺者及び自殺死亡率が高い。
また、女性の自殺者で、全国・県は令和2・3年と増加した後、令和4年は減少しているが、当市は令和2年から増加を続けている。

【表2】自殺者数(性別・年齢別)

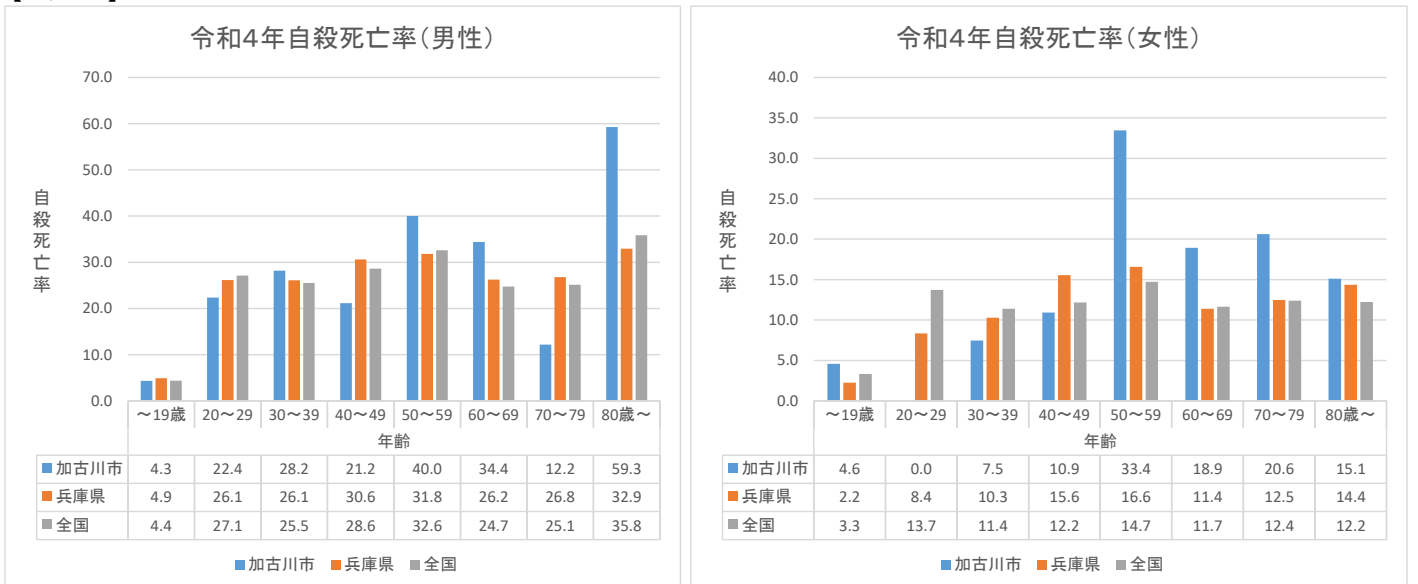
自殺者数		年齢									計	合計
		～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	不詳		
加古川市	男	1	3	4	4	7	5	2	5	0	31	50
	女	1	0	1	2	6	3	4	2	0	19	
兵庫県	男	22	66	73	116	118	81	88	62	0	626	945
	女	11	21	29	60	64	38	49	47	0	319	
全国	男	461	1,660	1,767	2,581	2,823	1,843	1,897	1,557	33	14,622	21,723
	女	333	805	760	1,051	1,236	895	1,086	929	6	7,101	

※引用:表1と同じ。

【グラフ2】



【グラフ3】



(2) 自殺者数(原因別)

全国・県と同様に当市は健康問題の割合が最も多く、自殺者全体の47.7%を占めている。次に、当市は第2位:家庭問題、第3位:経済・生活問題と勤務問題が続いている。全国・県と比較すると当市は勤務問題の割合が高くなっている。

【表3】自殺者数(原因別)

自殺者数		総数	原因(重複あり)								
			健康問題	経済・生活問題	家庭問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳	延合計
加古川市	自殺者数(人)	50	31	8	9	8	1	1	3	4	65
	構成割合(%)	—	47.7%	12.3%	13.8%	12.3%	1.5%	1.5%	4.6%	6.2%	100.0%
兵庫県	自殺者数(人)	945	589	185	180	112	21	20	45	89	1,241
	構成割合(%)	—	47.5%	14.9%	14.5%	9.0%	1.7%	1.6%	3.6%	7.2%	100.0%
全国	自殺者数(人)	21,723	12,703	4,656	4,743	2,956	823	578	1,725	2,672	30,856
	構成割合(%)	—	41.2%	15.1%	15.4%	9.6%	2.7%	1.9%	5.6%	8.7%	100.0%

※遺書等の自殺を裏付ける資料より明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能としている。

※引用:表1に同じ。

(3) 自殺者数(職業別)

令和4年以降は「被雇用・勤め人」と「自営業・家族従業者」が統合され「有職者」と分類してある。全国・県・市のいずれも「無職」が約6～7割を占めている。無職のうち「年金・雇用保険等生活者」「その他の無職者(ひきこもりやニートを含む)」の割合が高い。

【表4】自殺者数(職業別)

自殺者数		総数	有職者	無職					不詳	
				学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者		
加古川市	自殺者数(人)	50	16	34	2	1	1	17	13	0
	構成割合(%)	—	32.0%	68.0%	4.0%	2.0%	2.0%	34.0%	26.0%	0.0%
兵庫県	自殺者数(人)	945	353	563	42	42	26	295	158	29
	構成割合(%)	—	37.4%	59.6%	4.4%	4.4%	2.8%	31.2%	16.7%	3.1%
全国	自殺者数(人)	21,723	8,531	12,746	1,059	1,165	1,205	6,049	3,268	446
	構成割合(%)	—	39.3%	58.7%	4.9%	5.4%	5.5%	27.8%	15.0%	2.1%

※引用:表1に同じ。

(4) 自殺未遂歴の有無

当市では過去5年間、自殺未遂歴の無い者の割合が75～85%の間で推移している。全国・県と比較すると、当市は自殺未遂歴の無い者の割合が高い。

【表5】自殺未遂歴の有無

自殺者数		総数	自殺未遂歴		
			有	無	不明
加古川市	自殺者数(人)	50	10	39	1
	構成割合(%)	—	20.0%	78.0%	2.0%
兵庫県	自殺者数(人)	945	189	675	81
	構成割合(%)	—	20.0%	71.4%	8.6%
全国	自殺者数(人)	21,723	4,232	13,901	3,590
	構成割合(%)	—	19.5%	64.0%	16.5%

※引用:表1に同じ。

3. 加古川市の自殺の特徴(地域自殺実態プロフィール)

加古川市の自殺者数はH29～R3年合計227人(男性159人、女性68人)。

前回の区分3位「男性20～39歳有職同居」と5位「男性60歳以上無職独居」の順位が入れ替わっている。

【表6】加古川市地域自殺実態プロフィール2022(自殺日・住居地、H29～R3年合計より)

上位5区分	自殺者数	割合	自殺死亡率*	背景にある主な自殺の危機経路**
	5年計		(10万対)	
1位:男性60歳以上無職同居	26	11.5%	25.5	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:男性40～59歳有職同居	26	11.5%	18.2	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位:男性60歳以上無職独居	20	8.8%	125.4	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
4位:女性60歳以上無職同居	19	8.4%	12.0	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
5位:男性20～39歳有職同居	18	7.9%	19.8	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順。

*自殺死亡率の算出に用いた母数(人口)は「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を元に自殺総合対策推進センターにて推計したもの。

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考に推定した経路の一例であり、唯一のものではない。

4. 市民健康課におけるこころの相談件数

令和元年から3年度にかけて延相談件数が増加しており、R3年度から4年度では実相談件数が増加している。

一方、コロナに関連する相談件数は減少している。

【表7】市民健康課におけるこころの相談件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
R元年度		9		3		10		12		2		10		8		17		12		16		15		18	—	132
R2年度		18 (2)		13 (2)		22 (1)		14		24 (3)		19 (1)		26		23		26		27 (1)		42		33	—	287 (10)
R3年度	12	26	8	19	12	24 (1)	11	22 (1)	16	35 (2)	8	47 (1)	5	23 (1)	12	22 (1)	5	20 (2)	16	21	13	27	5	21	123 (7)	307 (7)
R4年度	16	24	16	25	16	39 (2)	15	25 (3)	13	34	15	28	16	25	7	19	10	18	13	28	10	20	12	29	159 (2)	314 (3)

※()=コロナ関連再掲

5. 救急要請数から想定する自殺未遂者数

年代毎に、救急要請数－自殺者数＝未遂者数として計上。

性別では男性より女性が多い。令和元年以降男性は増減を繰り返し、女性は増加傾向にあったが、令和4年は男女ともに減少しており、特に40代女性で大きく減少している。一方で、20歳未満女性・30代男女及び50代女性は増加している。

【表8】救急要請数から想定する自殺未遂者数

	男性				女性			
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
20歳未満	1	0	1	0	3	5	5	7
20～29歳	1	4	5	0	4	8	10	8
30～39歳	0	—	—	3	2	11	9	10
40～49歳	1	2	2	0	12	10	11	6
50～59歳	—	1	3	—	3	2	8	9
60～69歳	5	1	0	—	4	3	4	3
70歳以上	3	—	—	1	—	7	3	2
計	11	8	11	4	28	46	50	45

※救急要請数とは、自殺未遂を含むすべての自殺企図者

(救急課提供資料「救急出動により対応した自殺者数(自殺未遂者含む)」より引用)。

※自殺者数は、自殺統計(自殺日・住居地)ベース。

※救急要請数<自殺者数のため、未遂者が想定できない場合は「—」を記載。